

2017年度 本願寺 仏教文化講座

第2回 著者と学ぶ『季刊せいてん』at北御堂



質問にお答えになる井上見淳先生(右)。皆様からは、「大変素晴らしい内容でした。誌面以上に先生の熱い思いを感じました」(30代/僧侶)、「講義というより法話を聞いているような有難い時間でした」(20代/学生)といったお声を頂戴しました。

六月十二日、本年度第二回目の「著者と学ぶ『季刊せいてん』」が津村別院(北御堂)にて開催されました。講師は、「真宗(悪人)伝」の井上見淳先生。本誌119号をもとに、大谷廟堂をめぐる覚恵・覚如父子と唯善の争いや、覚如上人のご功績について、熱のこもったお話を聞かされたさいました。講義後は、受講者の皆さんからの質問に、これまた熱くお答えいただきました。ここではその様子を少しご紹介いたします。(質疑の司会は総合研究所の藤丸智雄副所長がとめました)

ようなご質問もあります。この点私もぜひお聞きしたいですね」 井上「そのご質問は、私が悪人伝を書いてる狙いに関連するんです。親鸞さまは「善悪のふたつ、総じてもつて存知せざるなり」と、善と悪、あれはわからんと仰る。見方が変わったら、善と悪が全部逆転していくんです。歴史上、唯善は間違いなく悪人扱いされてきてます。でも、彼の物語を紡いでいくと、彼がああなったのは、果たして彼が異常だったからだろうか、と思うんですね。私が悪人伝すべてを通して問題提起しているのは、実はそこなんです。唯善の物語を読んで、ゴシップ記事を見るように、「わー、泥沼」って言うてはだめだと思っんですよ。やっぱりお寺で聞く時は、少し歯車がずれば誰でもこうなる、こじれていけば誰でもこうなる種をもってるんだ、と聞かないといけない。わかりやすい悪者なら、そういうドラマなんかで見ればいいんですよ。ですので、唯善はそんなに悪くないって仰っていただけなら、私が原稿を書いた意味があつたかと思えます」 本連載、そして浄土真宗の核心に触れるご質問とお答えでした。より深く本誌を学ぶ、という本講座の醍醐味を味わうことができた時間だったように思います。 次回の講師は、「もう1人の『親鸞』」の黒田義道先生です。次回も一緒に学びを深めましょう。

【第3回の案内】

Table with 2 columns: 日時 (Date/Time), 場所 (Venue), 講師 (Lecturer), 受講料 (Fees), テキスト (Texts), 持ち物 (Items to bring). Includes details for the 3rd lecture on September 25th at 18:30-20:25.



黒田 義道 先生

季刊せいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

117号(冬)の号(2016年12月1日)

- はじめの一步I 真宗(悪人)伝⑥(井上見淳) 「慈信房善鸞(下)」
●はじめの一步II 「物語」で読み解く仏教(終)(野呂靖) 「一生不犯 その二」
●聖典セミナー 「歎異抄」⑧(矢田了章) 「第七条一念仏者は無礙の一道」
●せいてん誌上講演 「正信偈」⑩(柳實圓) 「道禪禪師(1)末法を生きる」
●和讃で学ぶ浄土真宗(終) 「念仏者の生活」(佐々木隆晃)



表紙 ●特集「私の名著」より

『季刊せいてん』バックナンバーのご案内(在庫分)



表紙 ●特集「仏教説話」②より

- はじめの一步I 戦国時代の本願寺③(金龍静) 「証如上人と本願寺」
●はじめの一步II 「物語」で読み解く仏教⑤(野呂靖) 「六道之沙汰」
●聖典セミナー 「歎異抄」①(矢田了章) 「前序」
●せいてん誌上講演 「正信偈」⑨(柳實圓) 「お念仏の道を伝えた高僧たち」
●和讃で学ぶ浄土真宗① 「人間のすがた」(佐々木隆晃)

110号(春)の号(2015年3月1日)

118号(春)の号(2017年3月1日)

- はじめの一步I 真宗(悪人)伝⑦(井上見淳) 「唯善(上)」
●はじめの一步II 幸せてなんだろう①(藤丸智雄) 「ちよい悪がなぜモテるのか?」
●聖典セミナー 「歎異抄」⑨(矢田了章) 「第八条一念仏は非行非善」
●せいてん誌上講演 「正信偈」⑪(柳實圓) 「道禪禪師(2)救われない理由」
●もう1人の「親鸞」 「親鸞聖人ご出家の物語」(黒田義道)



表紙 ●特集「西方指南抄」ガイドより



表紙 ●特集「お仏華を知ろう」より

- はじめの一步I 戦国時代の本願寺(終)(金龍静) 「願如上人と本願寺」
●はじめの一步II 「物語」で読み解く仏教⑥(野呂靖) 「妖怪と仏教」
●聖典セミナー 「歎異抄」②(矢田了章) 「第一条」
●せいてん誌上講演 「正信偈」⑩(柳實圓) 「龍樹菩薩(1)大乘の巨人」
●和讃で学ぶ浄土真宗② 「阿弥陀仏」(佐々木隆晃)

111号(夏)の号(2015年6月1日)

●これまでの主な特集記事● No.100...100号記念 勤学和上に聞く ①聖教の真实性と布教伝道について 柳實圓 ②聖典編集事業と『季刊せいてん』 徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
No.101...ヴィジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～
No.102...飛雲閣と聚楽第一聚落第の遺構か否か
No.109・110...仏教説話と譬喩に学ぶ①②
No.111...お仏華を知ろう
No.115...しなやかにつなげる仏事

*『季刊せいてん』誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。 お申し込み・お問い合わせは 本願寺出版社 0120-464-583 FAX075-341-7753 〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 1冊700円(税・送料込) 商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくはコンビニエンスストアで料金を払い込みください。



表紙 ●特集「しなやかにつなげる仏事」より

- はじめの一步I 真宗(悪人)伝④(井上見淳) 「熊谷直実」
●はじめの一步II 「物語」で読み解く仏教⑩(野呂靖) 「植物と成仏 その二」
●聖典セミナー 「歎異抄」⑥(矢田了章) 「第五条」
●せいてん誌上講演 「正信偈」⑪(柳實圓) 「曇鸞大師(1)大乘仏教の極致」
●和讃で学ぶ浄土真宗③ 「信心」(佐々木隆晃)

115号(夏)の号(2016年6月1日)



表紙 ●特集「伝統とその由来」より

- はじめの一步I 真宗(悪人)伝⑤(井上見淳) 「慈信房善鸞(上)」
●はじめの一步II 「物語」で読み解く仏教⑪(野呂靖) 「一生不犯 その一」
●聖典セミナー 「歎異抄」⑦(矢田了章) 「第六条一弟子一人ももたず」
●せいてん誌上講演 「正信偈」⑫(柳實圓) 「曇鸞大師(2)他力のころ」
●和讃で学ぶ浄土真宗④ 「念仏者の利益」(佐々木隆晃)

116号(秋)の号(2016年9月1日)